

助成事業実施報告書

団体名 一般社団法人みんなの居場所はち

代表者・役職名 氏名 代表理事 谷永誠

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

居場所づくりを通じた学生の夢応援事業

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

・学習支援×居場所づくり

武雄市内の中学生・高校生等を対象に夕食付きの学習教室を月4回程度実施しました。講師は、日頃より活動で連携している一般社団法人おもやいが実施するフードリンク(生活困窮者支援)事業利用世帯の大学生や休職中の女性に依頼しました。本事業の特色として、フードリンク事業を利用されている方に講師を依頼することによって、講師自身の夢や社会復帰も応援する場となっていることです。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

2023年7月から開始し、全体で32回開催しました。参加者人数は延べ234人で、高校受験を控えた中学3年生や高校3年生、通信制高校生、受験生の兄弟である小学生や中学生が利用しました。

最初は親からここに行ってみなさいと言われ参加していた子どもたちも、受験日の数日前に追加で自発的に勉強を見てもらいたい、学習スペースを開けて欲しいと希望する子どもも出るようになっていました。この学習塾に対して、利用した子どもたちからは、「勉強に集中できる」や「勉強する時間が増えた」と言った声が聞かれました。

また、食事の提供をしたことで、子どもたちにとっては色々な人からの支えがあるという気持ちから、勉強をもっと頑張ろうと思ったり、保護者の方からも「本当に食事を出していただいて助かります」と言っていました。必要なご家庭には、塾の終わりに保護者分の食事もテイクアウトしてもらったことで、食事の準備を気にせず、ホッと出来る日もなっていました。講師の先生の熱心さと子供たちの頑張り、ほとんどの子どもたちが希望する学校に合格することができました。

食事付きの無料塾を開催しているということで、市役所の方や、他の団体の方が視察等に来られ、地域の中でも、子どもたちが安心して集中できる学習の場の必要性等が少しずつ認知されて来た様感じました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

子どもたちから「来年も来たい」といった声や、来年度受験生になる兄弟が参加したいとの声も聞かれました。しかし、学習塾が少ない地域であり、各家庭にとって学習塾にかかる費用が負担としてのしかかり、子どもたちが勉強したくてもできる環境が少ないことが課題となっています。特に兄弟が多い世帯や、ひとり親世帯で子どもの家庭学習の面までのケアをすることが難しい家庭も多いと感じました。また、勉強は苦手、高校には行きたいけど、どの様に勉強していったらいいのかわからないという子も多く、そういった子の気持ちをくみ取り、勉強時間を確保できる場所が必要であると思いました。この様な課題から、子どもたちの学習の場を継続したいと考えています。

ただ、講師謝金の確保も課題で、子どもたちや家庭に負担がかからず、必要な資金源を確保し継続していける仕組みづくりが必要と考えています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

